

平成24年3月期 中間決算について

平成23年11月8日
JFE鋼板株式会社

平成23年9月中間期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(金額は単位未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月中間期	34,251	9.5	1,745	436.9	△ 613	-	663	△ 55.3
22年9月中間期	31,285	10.9	325	-	2,195	-	1,484	-

注 連結子会社数 23年9月中間期 5社、22年9月中間期 5社
持分法適用関連会社数 23年9月中間期 2社、22年9月中間期 2社

(参考)個別経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月中間期	30,683	9.3	1,442	881.0	△ 513	-	544	△ 60.0
22年9月中間期	28,084	11.3	147	-	2,197	-	1,360	-

【当中間期の概況】

当中間期の建材関係の需要は、新設住宅着工件数が月間10万戸を大幅に下回る水準で推移するなどベースの需要は低迷が続いておりますが、当社関連では東北・北関東における東日本大震災の仮設住宅向け及び復旧向けのカラー鋼板の受注増がありました。また、当社の主要原材料である原板の価格上昇をうけて、お客様のご理解をいただきながら販売価格の改定を進めました。これらの結果、当中間期の売上高は前年同期比9.5%の増加となりました。

【当中間期の損益】

経常利益につきましては、仮設住宅向け鋼板需要の増加、被災した京浜第4連続垂鉛めつき設備の復旧工事を当初予定の6ヶ月から3ヶ月に短縮したこと、ハイデッキ事業の選択と集中、ゼロベースでの徹底的なコスト削減、子会社でも短納期対応を進めたことなどの収益改善努力により、1,745百万円の利益を計上いたしました。

特別損益には、東日本大震災による設備の休止ロスなどを計上し、税引後の当期純利益は663百万円となりました。なお、前年同期の特別損益には旧本社ビルの売却益を含んでいたため、当期純利益は前年同期比△55.3%の減少となりました。

【当期の見通し】

当下期には震災に対する復旧、復興需要が見込まれ、ここにきて新設住宅着工件数に改善の兆しが見えますが、足元での円高により安価な輸入材の流入による悪影響が懸念されます。

このように状況は不透明ですが、当社は引き続きお客様のニーズに合った特長ある新商品の拡販や、前例に拘らないゼロベースのコスト削減などの収益改善努力を続け、上期の利益に更なる上乗せを狙ってまいります。

以上